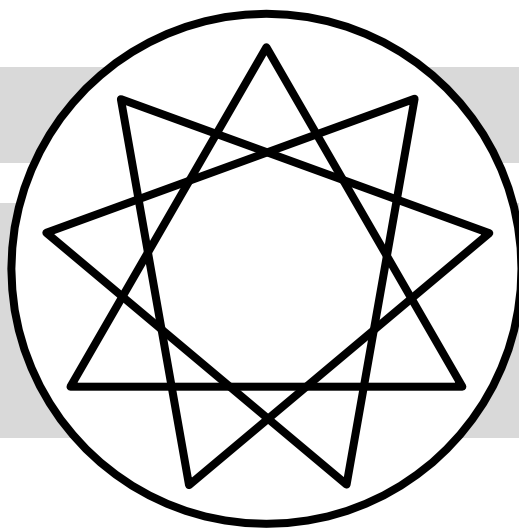
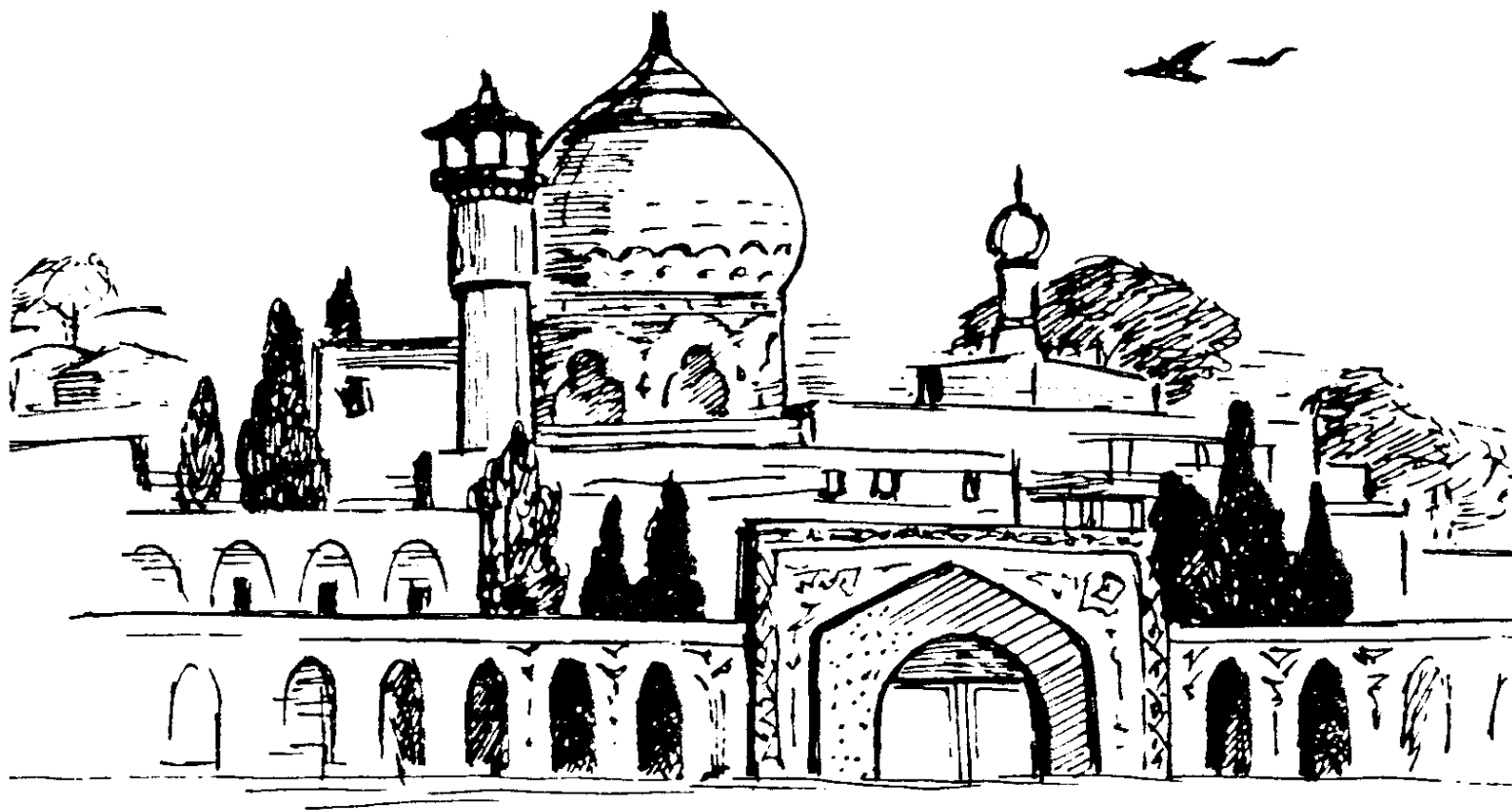


バブ

新しい日の先駆者





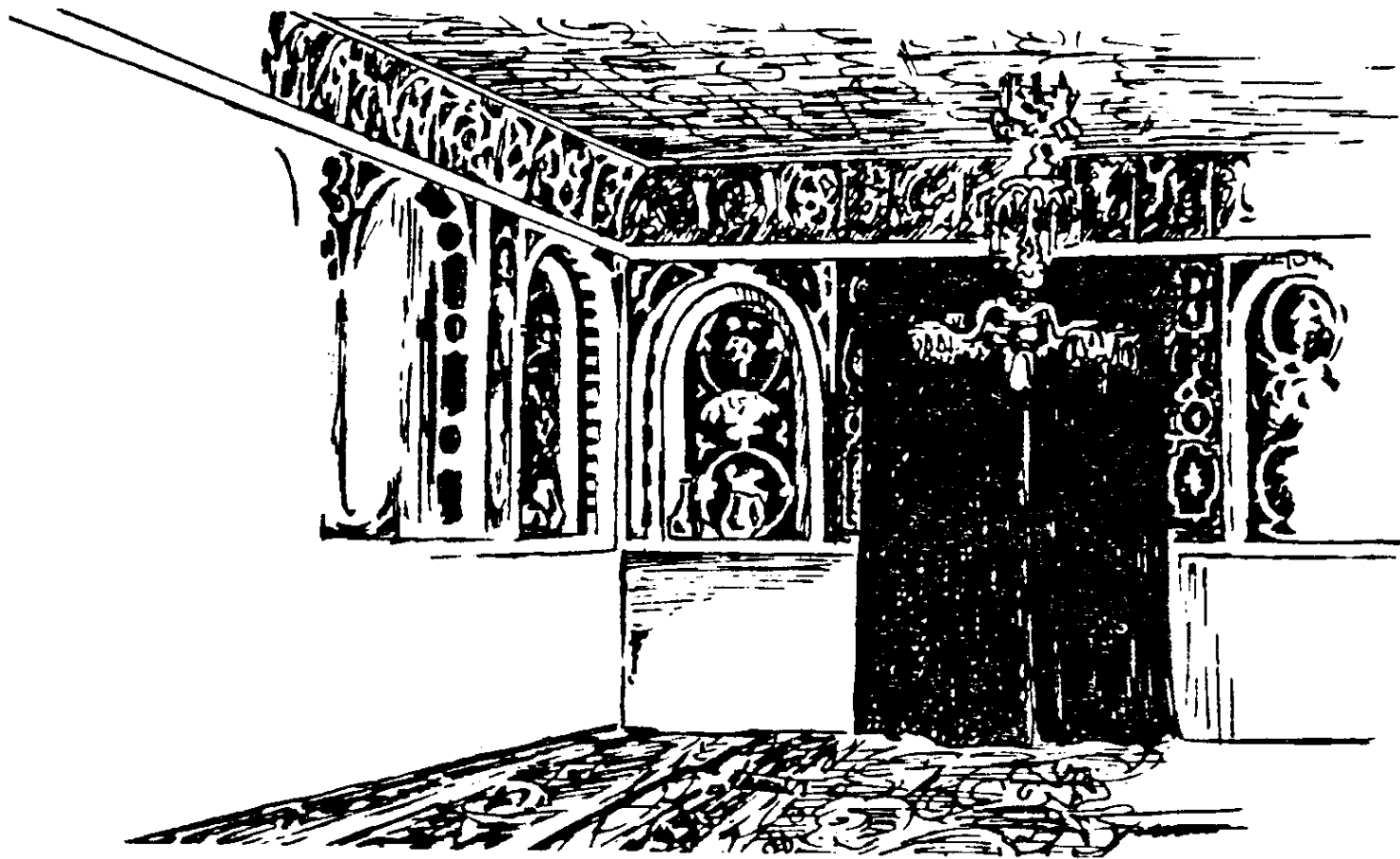
バブは 1819 年 10 月 20 日、イラン南部の都市、シラズにお生まれになりました。父親は彼がまだ幼少の頃に亡くなりました。彼を育てた伯父は、幼い頃にバブを学校へ入れました。



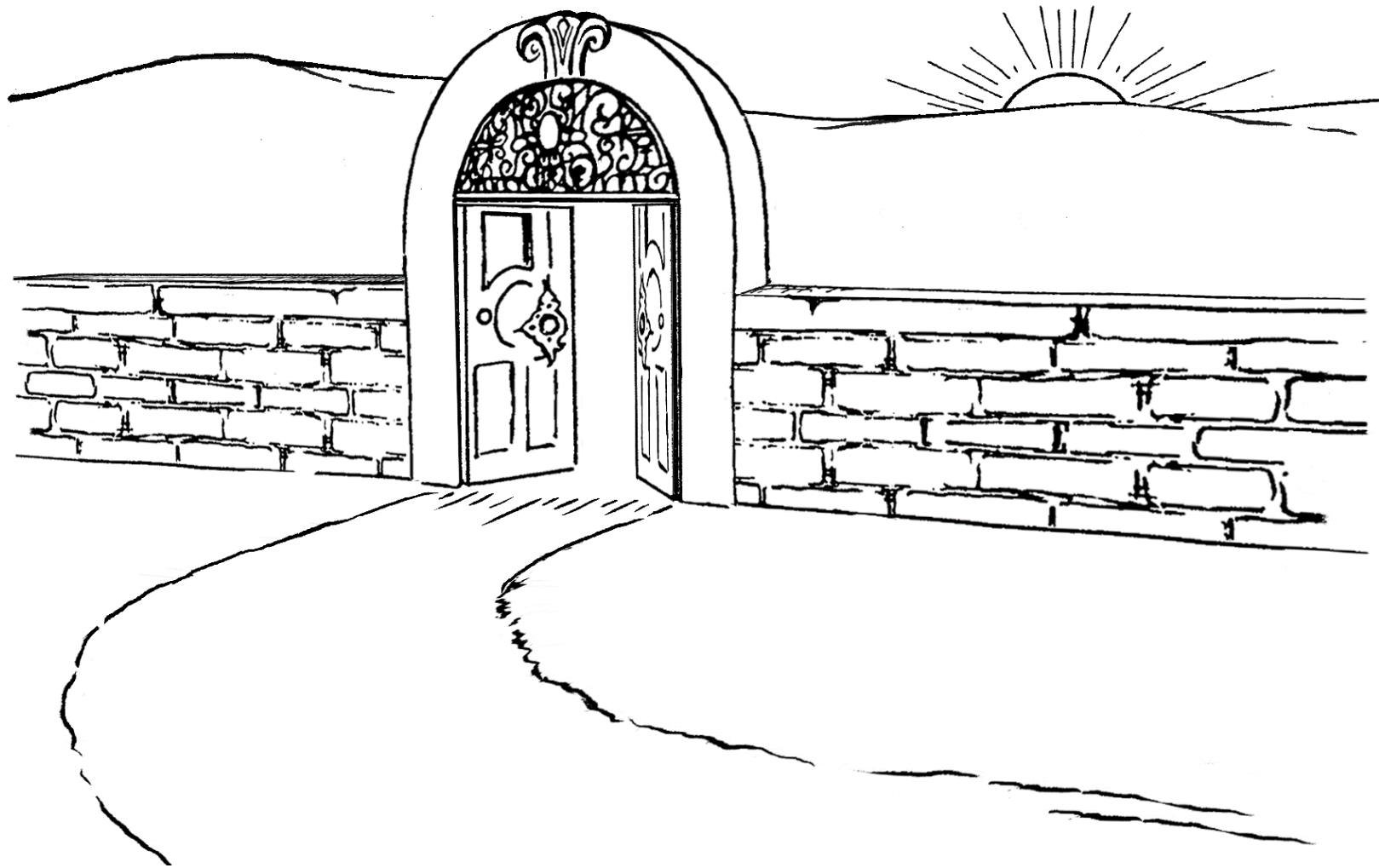
バブの先生はすぐさま、バブの偉大な能力に気づき、自分にはこのように非凡な子どもを教える能力がないと悟りました。バブは、神から生来の知識を授けられていたのです。



当時、イランの人々は、神の新しい使者の到来を待ち望んでいました。彼らは、地上に平和と正義の時代をもたらす神の使者が間もなく出現するようにと祈りました。多くの人が、約束された御方を探すために故郷を離れました。



1844年5月23日の前夜、一人の若者が、約束された御方を探してシラズにたどり着きました。バブは都市の門の外でその若者に会い、長旅の疲れをとるために家へ招待しました。バブはそこで、自分こそが、人々が熱心にその到来を待ち望んでいる御方であると宣言されました。



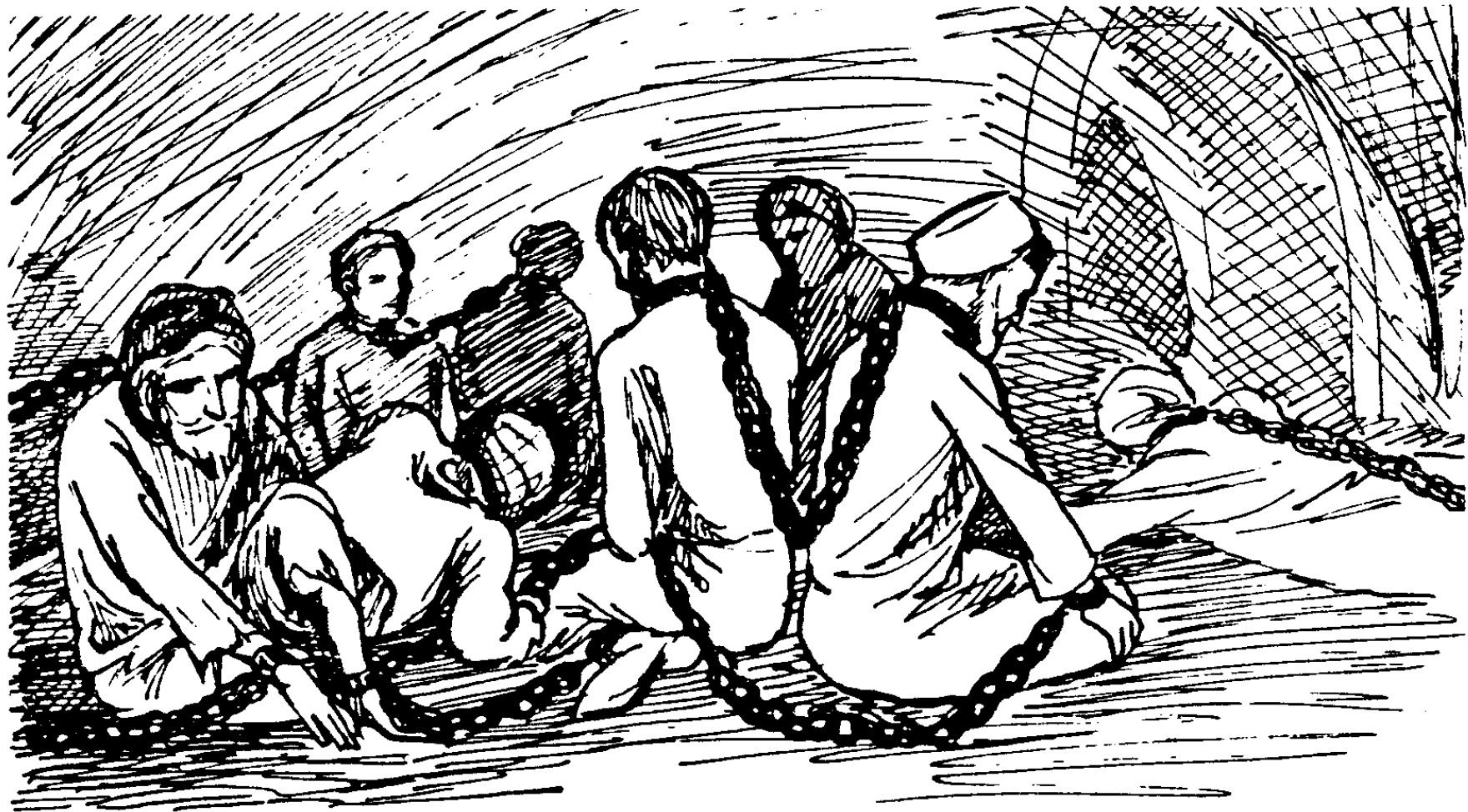
「バブ」という言葉は「門」、または「扉」を意味します。バブは、まもなく別の「神の使者」が現れ、その御方が世界のすべての人々を一つの家族として結びつけるであろうと告知されました。バブは、人類を新しい、栄光に満ちた未来へ導く扉のようでした。



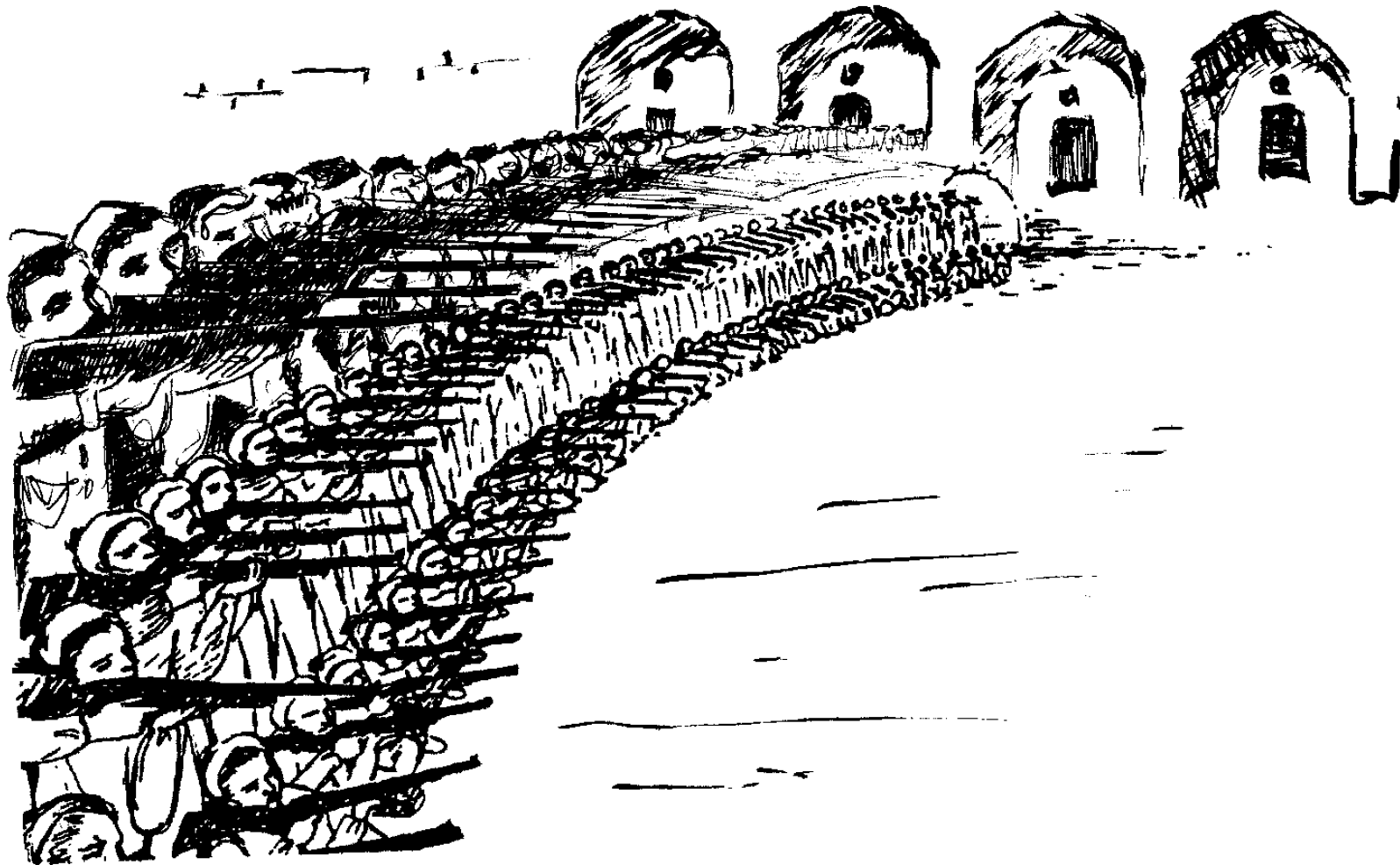
バブを信じる者の数は急速に増えました。イランの国中で、その信者たちはバブの啓示された聖なる教えを広め始めました。



政府の権力者や僧侶らは、人々に及ぼす自分たちの権力が失墜^{しつたい}するのを恐れて、神の、新しい信教に対抗するために立ち上がりました。彼らは、バブの信者らから遠く離れた、辺鄙^{へんび}なところにある砦にバブを監禁しました。



バブの信者は最も残酷な迫害に苦しめられました。彼らは襲撃され、鞭打^{むち}たれ、投獄されました。何千人もの人が殺されましたが、それでも、神の大業は広まり続けました。



1850 年、バブは殉教されました。政府の命令で、バブは信者の一人と共に中庭に吊るされ、兵士の連隊に撃たれたのです。バブの人生はたった 31 年間でした。



バブは、「神の栄光」バハオラ到来の道を準備するためにその生命を捧げました。バハオラの信教の旗は、地上の隅々まで掲げられるよう運命づけられていました。

Copyright © 2002, 2022 by the Ruhi Foundation, Colombia
All rights reserved. Edition 2.1.2.PE December 2022

Ruhi Institute
Email: instituto@ruhi.org
Website: www.ruhi.org